

煙を上げながら勢いよく燃え上がるやぐら



燃えるやぐらに無病息災を祈る 第24回両開ほんげんぎょう祭り開催

橋本町で1月14日、両開ほんげんぎょう祭りが開催されました。地域の無病息災や五穀豊穡を願って平成14年から始まった同祭り。4年ぶりの開催となった今回は、地元の小中学生や地域住民など約500人が参加しました。柳南中学校吹奏楽部による演奏や小学生によるモグラ打ちやロックソーラン披露の後、高さ10mほどの竹で組まれたやぐら6基に点火。勢いよく燃え上がるやぐらを見ながら、両開小6年生の山田真子さんは「健康で事故の無い1年になってほしい」と祈っていました。

新海苔にご飯やおかずを巻いて食べる柳河小学校の3年生



焼き海苔をご飯に巻いてパクリ 市内小中学校に新海苔を使った給食提供

市内の全小中学校25校で2月6日、有明海産の焼き海苔を使った給食が提供されました。これは、2月6日の「海苔の日」にちなんで、福岡有明海漁業協同組合連合会が平成24年から毎年企画しているもの。柳河小学校では、ご飯や厚焼き卵、ニラのサラダを自分の好みで四つ切の海苔に巻いてほおぼる3年生26人の姿がありました。井谷昂龍さんは「海苔がパリパリしておいしい。毎日食べたいくらい」と笑顔で新海苔を味わっていました。



【上】大相撲の世界へ飛び込み3月に初土俵を踏む高口さん（中央）
【下】秀ノ山親方（左）は「私を超えてほしい」と期待を込めた



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係 ☎77・8425

憧れの親方の元で相撲に精進 佃町の高口さんが秀ノ山親方に弟子入り

東宮永小学校卒業生の高口誠雄さん（佃町、18歳）が秀ノ山親方に弟子入りしました。身長170cm、体重115kgの高口さん。「相撲を見据えて」と小学校入学前から柔道に打ち込み、大牟田高校では団体戦2年連続となる全国3位に大きく貢献しました。2月6日、親方らと共に市役所柳川庁舎を訪れた高口さんは、金子市長に大相撲への入門を報告。「やるからには横綱を目指して頑張る」と力強く抱負を語りました。秀ノ山親方は「責任を持って育てたい」と目を細めていました。

ハンカチ落としで中島小学校の児童を追いかける韓国の児童



韓の新たな架け橋に 中島小学校と韓国の児童が交流

国際的な視野を持つ子どもを育てようと、サンブリッジ国際交流協会（竹井清理事長）が平成12年から開催している日韓子ども交流事業。その一環として1月22日、韓国の東萊初等学校5年生が中島小学校を訪れ、同校の児童と交流しました。互いに楽器の演奏や合唱を披露した後、ハンカチ落としやドッジビーなどで交流を深めました。最後は中島小学校の児童が折り紙などをプレゼント。6年生の堤新さんは「事前に勉強した韓国語でうまく交流できたので楽しかった」と話してくれました。

シュプレヒコールで暴力団追放を誓う参加者



安心して暮らせるまちを目指して 暴力団追放総決起大会が4年ぶりに開催

暴力団のいないまちを目指して1月20日、市民文化会館で暴力団追放総決起大会が開催されました。4年ぶりとなった今回、初めて会場となった市民文化会館には約800人の市民や関係者が来場。弁護士による暴力団の手口と対処に関する講演や警察関係者による演奏の他、参加者全員でシュプレヒコールを行い、暴力団追放の機運を高めました。参加した男性は「暴力団の怖いニュースが聞こえてこない安心・安全なまちになってほしい」と思いを話しました。

仲間からたすきをうける参加者



声援を背に150人が力走 武田千代三郎杯駅伝大会開催

1月21日、武田千代三郎杯柳川市駅伝競走大会が、有明ひまわりセンター周辺で行われました。大会には、スポーツクラブや中学生の部活動などで構成された男女30チーム150人が参加。チームメイトや保護者の声援を受け、1周約1.5km、5区間でたすきをつなぎました。大会結果は次のとおりです。【小学生の部優勝】▷男子=中島ミニバスケットA▷女子=YASC陸上【中学生の部優勝】▷男子=柳川有明ボーイズB▷女子=三橋中・大和中バスケットA

鹿児島から青森まで走りながらPRするラッピングトラック



走りながら柳川の魅力を全国へ 11台目のラッピングトラックお披露目

橋本町の柳川ひまわり園を描いたラッピングトラックが1月22日、市役所柳川庁舎の駐車場で披露されました。これは、西浜武の運送会社、(株)柳川合同トランスポートが市の助成を活用して毎年製作しているもの。10トンを超える新車の大型トラック荷台両面に、幅9.6m、高さ2.7mにわたって満開のヒマワリ畑がラッピングされています。同社の荒巻哲也社長は「みんなを明るくしてくれる柳川ひまわり園を全国にアピールしていく」と意気込んでいます。